

コロナ対応ありがとう

福山・日吉台小児童が寄せ書き



日吉台小の児童からメッセージ集などを
受け取る福山市民病院の職員たち

市民病院職員に贈る

新型コロナウイルス禍で働く人に感謝を伝えようと、福山市日吉台の小児童の4年生が6日、折り紙やフェルトで作ったバラで飾り付けた寄せ書きなどを福山市民病院(同市蔵王町)の職員に贈った。

「毎日コロナに負けずはたらいてくださってありがとうございます」「ごきげんよう」などと書かれたメッセージを張り付けた模造紙のほか、粘土で作ったバラやドライフラワー

を敷き詰めたケースなどを手作りした。児童50人を代表して橋詰ひなたさん(9)と猪原梨愛さん(9)が内田朋子看護部長たちに手渡した。

バラを栽培する中で育む思いやりや助け合いの心を意味する「ローズマインド」を学んだことをきっかけに約1カ月かけて制作。内田看護部長は「時間をかけて作られたことが伝わる」と話した。寄せ書きなどは、

同病院の正面玄関に掲示された。

同病院には同日、同市春日町のローズタクシーが車いす2台を寄贈した。従業員代表の藤井博文さん(55)が高倉範尚・病院事業管理者に目録を手渡した。ドラ

神辺の日神運輸 安全運転最高賞

県警などが表彰

県警などは、交通安全に貢献した福山市神辺町の日神運輸に優秀安全運転事業所として最高賞のプラチナ賞を贈った。

同社はドライバー100人が所属。3年続けて無事故無違反の割合が高かったことなどが評価された。福山北署で5日に表彰式があり、馬屋原有治社長は「朝礼時の点呼で社員と安全運転を呼び掛け合っていた。一人一人の心掛けが実を結んだ」と喜んだ。

県内では今年、プラチナ、金、銀、銅の各賞を県内の

イバー約60人が3年間で集めた空き缶を換金し購入。高倉病院事業管理者は「ブレーキ付きで安全に利用できる」と感謝した。同社は2016年から病院や福祉施設に車いすの寄贈を続けている。(佐伯春花)

39事業所が受賞。うちプラチナ賞は同社を含めて2社だった。

福山北署での表彰式には、銀賞を受賞した法成寺

本本書長から賞状を受け取る馬屋原社長



運輸(同市駅家町)の社員も出席。本本英則署長たちが賞状と盾を贈った。

びんごメール @福山

「かわいい声して言うことは言うね」「旦那さんを大事にしてあげてね」。取材した女性議員が、セクハラだと感じた言葉を次々と挙げた。悪気なく掛けられたものもあるかもしれない。だからといって見過ごせない。性差別意識は根強いと改めて痛感した。

政治分野の男女共同参画推進法が先月改正されたのをきっかけに、先輩と2人で備後地方の6市町議会の女性の声を集めてみた。全議員132人のうち、ほぼ1割の14人という貴重な意見だ。

普段、警察担当として取材する

性差別意識の根強さ痛感

相手は大半が男性。仕事で出会う同業者もほとんどが男性だ。どこかで心細さを感じることがある。「女性だからその視点で意見を言えるよう頑張っている」。そう力強く言い切る、ある議員の言葉には背中を押された気がした。

一方で、多くの議員が口をそろえるように言った。「うちは子育てが一段落し、家庭の理解があつたから」。その言葉には違和感を覚えた。男性にも同じような負荷が掛かっているだろうか。そう考えると、どうもふに落ちない自分がいる。

(佐伯春花)

50〜70センチウナギ

△福山▽芦田川河口堰(ぜき)周辺で50〜70センチのウナギが2、3匹。投げ釣り。餌は海側がアトムシの房掛け。川側がミミズ。鞆町や田島、横島で胴長20センチ前後のコウイカが2、3匹。エギングで餌木は3〜3.5号IIレジャック。福山本店084(957)7676。

キス3〜20匹

△尾道▽向島南側で早朝、投げ釣りに16〜21センチのキスが3〜20匹。餌はアトムシ、ス